

TSUNAGU

つなぐ

天水福祉事業会の紹介

法人理念 「つなぐ」

復古創世
～過去から現在そして未来へつなぐ～
報恩感謝
～ありがたいの感謝の心で～
国家福祉
～世の為、人の為に～

設 立 昭和28年

所在地 熊本県玉名市天水町小天6638

職員数 150名

経営事業 児童福祉部門（4か所）
障がい児・者部門（6か所）
高齢福祉部門（3か所）



tsunagu village



第二天水学園について

所在地 熊本県玉名市天水町小天6645-1
(天水町人口約6000人)

開所年月日 平成17年4月1日

サービス 就労継続支援B型(定員 30名)

支援内容 みかん・トマト・稲作を中心とした農作業や、清掃作業、工芸品作りを通して、主に知的障害者の利用者さん(18歳以上)に就労支援や生活支援、相談支援を行っている。

平成29年度平均工賃額:月25,045円

(熊本県の平均14,042円/平成26年度熊本県発表)

作付面積等

みかん「早生・青島・葉みかん・雑柑」・・・2ha、売上約200万円

※直売、地元卸業者への販売、加工品化、自家消費

トマト「れいよう」・・・0.4ha(ハウス9棟)、売上約400万円

※JA玉名への出荷、自家消費、加工品化

稲作や野菜等については地元の農業法人が主となり生産

農福連携への取り組み

- 昭和54年 精神薄弱者施設「天水生命学園」開園
県下11番目の更生施設としてスタート、作業科目（プログラム）として農作業を採用
- 昭和56年 三角町に実習地として農園を開墾・取得 → みかん栽培を開始
- 昭和63年 稲作へシフト 5反よりスタート（40俵）
- 平成6年 農業法人「若宮農園」設立
自給自足達成（200俵）、外販（卸）開始、トマト栽培にも着手
- 平成17年 通所授産施設「**第二天水学園**」開園 ※障害者自立支援法
通所授産施設として分離（就労支援に特化し栽培品目を拡大）
- 平成20年 大型精米機導入、米小売開始
- 平成23年 カット工場新築、米倉庫
- 平成24年 「呑んきや」開設
- 平成26年 みかん・トマト等六次産業化に着手
- 平成29年 米焼酎「ココカラ」「ツナグ」販売開始

農福連携コーディネーター事業について

- 1、概要 平成29年度熊本県工賃向上計画支援事業の特別事業の一事業として実施
熊本県が、社会就労センター協議会を通して、
（福）天水福祉事業会 第二天水学園に委託
- 2、内容 コーディネーターを1名配置して、農作業の請負を希望するB型事業所等と、農作業を外部に依頼したい農業者を仲介（マッチング）し、契約調整を行う

取り組み開始までに行ったこと

- コーディネーターをどうするか

熊本県OB等の紹介、ハローワーク等において募集

知人友人からの推薦・紹介、法人内での検討・・・・・・・・

- 対象事業者をどこまでとするか

地域、業種（A型、B型等）

- 農業者側の掘り起しはどのように行うか

熊本県農林水産課、JA等・・・・・・・・

- 事業内容を具体的にどうするか

どのような中身をいつ、どこまで調整するか・・・・・・・・（長野県・香川県等参考に）

取り組み開始

1、福祉サイドへのアンケート実施（H29.6）

種別、農業参入の有無、利用者の作業内容、マッチングの希望の有無、課題等

2、アンケートの分析

大多数の事業所が既に農業へ参入済み、販路の確保や農業技術の習得等に課題

3、事業所の選定（H29.7～8）

すべての事業所へのマッチングは不可能であるため、福祉事業所の選定を行う

4、農業者サイドへのアプローチ

(株)農テラス 山下氏にアドバイザーとして協力依頼、農業事業者の選定を開始

5、「熊本モデル」の策定

熊本モデル

形態	施設外就労（1ユニット職員1名、利用者3名以上）
モニターの実施	2日×2週（午前か午後の2時間）
金額	一回 3500円（1ユニット2時間）とする
契約内容	モニター実施後、期日・回数・業務内容等お互いに相談して決定
その他	天候、行事等に左右されず、施設外就労は必ず相互協力の下実施すること

6、本事業説明会 兼 情報交換会の開催（H29.9）

福祉サイド：チャレンジめいとくの里、
サニーサイドワークセンター、
ピュアマインド、
済生会ウィズ、
第二天水学園

農業サイド：ナチュラル、
燦燦ファーム、
武田農園、
池端うずら園、
中村農園



7、モニターの実施（H29.12~1）

情報交換会、熊本モデル等の説明を行い、実施事業所を決定

福祉事業所名	農業者名	農作業内容	モニター実施期間・ エリア等
サニーサイド ワークセンター	(株) 燦燦ファーム	パクチーの洗浄、梱包・ 計量、ハウス内外の草取 り、肥料散布	1 2月（全4回） 菊池エリア
チャレンジめい とくの里	(株) ナチュラル	パクチーの収穫・選別・ 袋詰め、 加工品、ハウス内外の草 取り	1 2月（全4回） 植木エリア
ピュアマインド	武田農園	ベビーリーフの収穫、選 別、とうもろこし栽培、 ハウス内外整備、除草	1月（全4回） 和水エリア

7-1 モニターの様子



7-2 モニターの様子



7-3 モニターの様子



7-4 モニターの様子



モニターの結果

- 試験的にモニターを行った3ケースのうち、施設外就労契約に結び付いたのは2か所。
 - 残り1か所は、単発での農作業請負実施として継続すると話がまとまった。
- ⇒結果を踏まえて、関わった農業者と福祉事業所からの意見聴取。
分析、今後の課題等を検討する。

事業実施を振り返って

- 福祉サイドと農業サイド、双方からのニーズがとても高い
- 両者の相互理解、共通の目的意識・問題意識を持つことが重要
- 農業サイドが、雇用型農業にスライドできるか
- 福祉サイドの事業所全体としての体制整備・事業への理解

平成30年度の取り組み

- 対象エリア等を拡大（八代、あさぎり、熊本市）して実施中
- 農業者サイドの掘り起し（熊本県農林水産部、JA、各市町村）
- 前年度マッチングケースの継続支援
- 社会就労センター協議会等を通して、農福連携の理解・促進活動を実施

はじめよう！

農福連携



ご清聴ありがとうございました